

# ゼミとは

ゼミとは、比較的少人数の学生が、担当の教員の指導のもと、学生それぞれが主体となって関心のある専門分野について研究する学習スタイルです。

それぞれのゼミに独自の個性があり、学習方法にも多少の違いはありますが、学生が個人やグループでテーマを決め、調査し、自分の考えをまとめて発表する形式が主体で、プレゼンテーション能力を養うことができることが、大人数の授業とは異なるゼミの魅力です。

また、普段はなかなか意見を交わす機会がない教授や先輩や後輩との議論、そして、学校を離れたところでの交友も大きな楽しみです。以下では、そんなゼミの一つについてご紹介します。

## CLOSE UP

### 憲法(南野)ゼミ

2007年度の南野ゼミでは、「憲法学の論点再検討」という主題の下に各自がテーマを決め、研究したことを発表し、それに基づいて全体で議論を進めるという形をとっています。担当者以外の人も、毎週論文を読んで予習しますが、内容も難しく量も多いため、決して楽ではありません。しかし、そういった予習や議論をすることで、単に憲法の知識だけでなく、物事を論理的に思考する能力や討論する能力が身につきます。

授業時間以外でも楽しいイベントがたくさんあります。夏休みには合宿、春休みには旅行があり、ゼミ生同士・先生との親睦が深まります。また、昨年は他にも市役所見学や同窓会があり、働いている先輩と交流する等様々な経験が出来ました。今年は東京旅行、他大学の憲法ゼミとの交流、ヨーロッパ旅行などを実現したいです！



## ある日のゼミ風景



#### 16:30 くじ引き

今日は「ロシアンルーレット回」(全員が一つのテーマについて調べてきて、その場で発表者を決める怖〜い回)。さて誰に当たるのか、緊張の一瞬…!

「当たらないでほしいような、けど折角準備したんだから当たってほしいような…」



#### 18:10 終了予定時刻

しかし毎度の如く、終わる気配はない。今回はみんな調べてきているだけあって、いつにも増して議論は白熱!



#### 16:40 ゼミ開始

発表者も決まり、本日のゼミ開始。お題は「憲法第九条」。

「今日も長くなりそうな予感…がんばるぞっ」

#### 19:30 ゼミ終了

長沼ナイキ事件から自衛隊保持の適否、集団的自衛権、憲法改正論議に至るまで、真剣勝負の論議が展開されたゼミもようやく終了。

「準備は大変だったけど、充実したゼミだったな。みなさんお疲れ様でした☆」



他のゼミも  
覗いてみよう!!

## 南野ゼミの7つの真実

#01 あるゼミ生曰く、食わず嫌いだっただ憲法が南野先生の講義で好きになり、このゼミに入った。今では三度の飯より憲法が好き。

#02 すべてゼミ生は、己のほとばしる知的好奇心から様々な論点についての研究を行う。例えば、憲法第9条、外国人の人権、報道の自由、投票価値の平等、天皇の法的地位、参議院の存在意義、憲法改正論、道州制などなど。

#03 あるゼミ生曰く、ゼミでは議論が白熱し、時には真つ暗になるまで数時間に及ぶ。これがゼミ生にとって一番の楽しみだ。終盤、いつも守衛さんがそつと覗きにくる。早く施錠したいのだから。



#04 あるゼミ生曰く、南野先生は良い意味で大学教授らしくらぬ先生である。公私を問わず学生との繋がりを大切にしてくれる学生想いの優しい人物であり、勉強に関しては厳しい良き教育者。

#05 あるゼミ生曰く、個性派揃いのゼミ生に共通するのは勉学に遊びに全力投球なところ。時にそれぞれの熱意が空回りすることも…。ここでは先輩・後輩の垣根なく、プライバシーもまたない(えっ!?)。

#06 プライバシーを保障しているのは憲法である(たぶん)。我々が学んでいるのは憲法である(きつと)。

#07 あるゼミ生曰く、こんなに素敵なゼミはない。



## 課外活動の例

ゼミ後はほぼ毎回の食事会、他ゼミとの合同コンパ・合宿(九重山)、別府・湯布院温泉旅行、鹿児島ゼミ旅行、卒業パーティーなどなど。

南野ゼミでは、数々の自主的なレク企画があります。このような酒の付き合いや裸の付き合いを通じ、ゼミ活動で憲法を語るだけでは得られないような心のつながりが生まれるのです。南野ゼミの学びのパワーの源はここにあると言っても過言ではありません。私たちの後輩になりませんか!



## 刑事政策(土井)ゼミ

土井ゼミでは、犯罪の原因やその社会的背景、犯罪者の処遇などについて学習しています。

毎回報告者がテーマについて調べ、報告、問題提起、そしてそれらをもとにゼミ生が意見を出し合い議論を進めていきます。一人一人が犯罪問題などに関して日頃から問題意識が高く活発に意見が出されます。ただ難しい内容の時などは議論が行き詰まってしまうこともあります。そんなときは先生が新しい視点を示して助けてくださいます。他人の意見や先生の一言で、一人で学習するだけではわからなかったことが見えてくるのがゼミの面白いところです。

また普段のゼミ以外に、年に数回少年院や刑務所などの施設への参観も行っています。普段学習していることなどを、直接自分の目で見て現場の方のお話を聞けるのはとても貴重な経験となります。それからシナリオや配役などをすべて自分たちで設定する模擬裁判などもおこないます。準備には時間がかかりますが、それを通じて刑事裁判の手続きなどを深く理解することができます。

週1回のゼミですが、ゼミの準備や行事を通してゼミ生同士とても仲良くなることができますし、普段は話す機会のない先輩方とも親しくなることができます。報告のスキルや議論の方法を学ぶだけでなく、さまざまな人と意見交換しあいながらお互いを高めることができ、私たちにとってゼミやゼミでの出会いは自分を成長させてくれるものとなっています。

